

イベント報告



2022 年度 秋季大会

知の社会実装をいかに進めるか

2022年12月4日(日) 10:00-18:00 早稲田大学 3号館 501 教室+オンライン

日本の産業界がイノベーションの枯渇に喘いでいる。その一つの要因として、大企業による理工系人材の囲い込みによる閉鎖系の開発モデルの陳腐化がある。そこで既存の企業を経由せずに大学発の知を直接的に社会実装する試みが活発化している。いわゆる大学発の起業であるが、その仕組みが機能するためにはサイエンス、経営人材、資本、事業インフラが柔結合するエコシステムの形成が必要である。ようやく我が国において、このようなエコシステム形成の営みは緒についたところであり、克服すべき課題は多い。

そこで本学会では、大学を中心とするサイエンス to ビジネスの最前線の実態を探り、諸外国の取り組みとも比して、日本のイノベーションエコシステム形成の現状課題把握と将来展望を試みる。

大会共同委員長 早稲田大学 大学院経営管理研究科
牧 兼充
同 平野 正雄

■プログラム

10:00-12:00 公開論文発表セッション

審査員コメンテーター

浅羽 茂 早稲田大学 大学院経営管理研究科 教授

隅藏 康一 政策研究大学院大学 教授

根来 龍之 早稲田大学 大学院経営管理研究科 教授

12:00-14:00 ポスターセッション

14:00-14:10 オープニング

平野 正雄 日本ビジネスモデル学会 会長

14:10-14:40 講演 1

『スタートアップによる知の社会実装 課題と展望』

馬田 隆明 東京大学 FoundX ディレクター

14:40-15:10 講演 2

『CVC からみたスタートアップ風景』

井上 智子 オムロン株式会社グローバルコーポレートベンチャー
リング室室長 オムロンベンチャーズ株式会社 代表取締役社長

15:10-15:40 講演 3

『早稲田大学におけるベンチャー創出の挑戦』

太田 裕朗 早稲田大学ベンチャーズ株式会社 代表取締役

廣瀬 雅 株式会社 Nanofiber Quantum Technologies

Co-founder & CEO

16:00-16:30 講演 4

『How to promote social implementation of knowledge』

フィル・ウィックハム Sozo Ventures 共同創業者兼マネージン
グ・ディレクター

16:30-17:15 登壇者によるパネル討議

モデレーター 牧 兼充

早稲田大学 大学院経営管理研究科 准教授

17:15-17:30 クロージング

西田 治子 日本ビジネスモデル学会 代表幹事

総合同会

浜本 亜実 日本ビジネスモデル学会 プリンシパル